



# 森のなかま

2017年7月号

NO.111 (継続256号)

事務所が移転しています!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明  
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302



最後を飾った花火

## “36th横浜開港祭(THANKS TO THE PORT)街頭キャンペーン”

日：6月2日(金) 晴れ、6月3日(土) 晴れ 9:00~16:30

場所：私達の会場配置は、みなとみらい臨港パーク 汐入の池付近

### < 普及啓発部(副理事長) 森本 正信 5期 >

日程的に、開港記念日の6/2が金曜日、これに続く6/3が土曜日開催となった今年の横浜開港祭。昨年の挽回とも言える成果を挙げることが出来たと思う。(昨年は1日目が11名、2日目は記録の454名も計465名と散々)

出店内容は、本来の紙芝居一式に加え、台座付きどんぐりクラフトキットを500個用意。また、丸太切りは希望者だけの任意参加の扱いとしたので全体の流れはスムーズとなり、「かながわ水源の森林づくり」のPRに専念出来たようだ。

なお、運営面で実行委員会・事務局のご理解も多々いただけて助かったが、反省会では、緑の募金協力としてクラフト参加費@100円(現在は無料)をいただいていたどうか、というコメントも出ていた。今後、検討・調整していきたい。

#### ●キャンペーンの流れ

受付、緑募金(ガラガラ抽選) → 紙芝居・涵養実験・クイズ → 全員に景品 → どんぐりクラフト(工作)  
→ 丸太切り(コースター作り)

●参加者数：	6/2 (金)	大人	154名	、	子ども	257名	⇒	小計	411名
	6/3 (土)	大人	184名	、	子ども	220名	⇒	小計	404名
	2日間 計	大人	338名	、	子ども	477名	⇒	合計	815名

一日平均では過去最高来場者



かながわ水源の森林づくり

翩翻(へんぱん)と翻る水源の森林づくりの旗



私達の会出店場所と配置全景



#### 会場配置概要

どんぐりクラフト(工作)

丸太切り

紙芝居・涵養実験

長椅子

緑募金・受付

準備・設営



緑の募金・受付 盛況振りを御覧あれ



ドングリクラフト(工作)



ギリシャ名 S.P.H 大学の取材もあり



森・水のお話し(紙芝居・水源涵養実験)



丸太切り

(写真:松本)

(公財)トラストみどり財団、インストラクター参加者  
 6/2 財 榎山様、インスト L森本⑤、渡辺③、落合③、高橋③、足立④、安部⑤、鈴木⑤、斎藤武⑥、武本⑦、斎藤彰⑧、青木⑩、大澤⑩、松本⑪、澤村⑫、大原⑬、立花⑭ の16名  
 6/3 財 内田様、インスト L森本⑤、渡辺③、高橋③、足立④、安部⑤、鈴木⑤、斎藤⑥、永野⑥、武本⑦、小野⑦、渡部⑦、大澤⑩、大塚⑪、松本⑪、山崎⑫、溝田⑬ の16名



### 私達の会のH.P. が最優秀賞(林野庁長官賞)の表彰式

一般社団法人全国林業改良普及協会主催の第51回林業関係広報コンクールのHP(ホームページ)部門において私達の会のホームページが最優秀賞(林野庁長官賞)を受賞することが出来ました。

5月26日(金)に東京都港区の三会堂ビル内の石垣記念ホールにて林野庁長官(代理の沖次長)より表彰を頂きました。

当日は当会からはホームページ作成運用担当の井出氏、久保理事長、福島事務局長、松本広報部長が出席し、立役者の井出氏が表彰状等を授与いたしました。

かながわ森林インストラクターの会のホームページはURL <http://www.forest-kanagawa.jp>

または   をご覧ください。



表彰を受ける井出さん



記念撮影左から(松本、井出、久保、福島)の各氏

(記 松本)

## 森林部会「竹林整備研修会」(インストラクター内部研修)

場所:「ひじりの森」(聖峰登山口付近) (位置)参照)

平成29年5月21日(日) 10:15~15:10

### < 北村 貢 13期 > (写真&キャプション 滝澤⑤)

伊勢原駅北口のバス停、大山ケーブル行に並ぶ長蛇の列、馴染みの顔、「暑くなりそうですね」の挨拶を交わす。あちこちに話の輪が広がる頃に「栗原行き」のバスが来た。9:30バス発車、研修会のメンバーで貸し切り状態と思いきや、親子連れもチラホラ、比々多神社で降車、後で聞くと「勾玉祭り」だそうだ。終点栗原の手前、聖峯への登山口で途中下車して「ひじりの森」へ徒歩20分、一汗かいて山の神広場で身支度、10:30小野スタッフの号令下オリエンテーション開始。森林部会長が他団体から得た斜面滑落による重大事故2件を揚げられ、今回の研修場所も急斜面なので、十分に注意する様にと述べられた。講師の松永さんから「竹林整備マニュアル Ver.1」の要所々々の説明を受け、講師の富樫さん指導で柔軟体操、参加者22名は1班松永廣講師、2班佐藤武晴講師、3班富樫文衛講師に分かれ現地へ移動し実習となった。



①講師による竹林整備マニュアルの説明



②班に分かれて実習前の説明を受ける



③なかなかの急斜面での作業



④講師によるデモンストレーション



⑤見栄えも考えて棒の長さをそろえて置く



⑥手元ロープを使って倒す方向を修正

12時から30分現地での昼食、14:40班毎の話合いを済ませて、再び山の神広場に集合して各班の発表、講師の講評を受けて研修会を終了し、解散・徒歩で「神戸」バス停へ向かった。

#### \*\*班の発表概要\*\*

1班:急斜面で結構密集した作業なので、前後左右注意して行った。切り始め、倒す時に大声を掛けた。竹は結構早く倒れる。等高線上に倒すのに手元ロープが役立った。

2班:急斜面で古竹が多く殆どが斜面下方に向いている場所だった。等高線上に倒す技術をもっと学びたい。午後は一人で倒す実習となり、一人でも出来るのを学んだ。

3班:枯れ竹を主体にしたが、硬いので楽ではなかった。切る高さを目的に応じて行った(極力地際、杭用、手掛け・滑り止用)のでまちまちとなった。周りの人の助言で鋸を引く角度を矯正出来た。穴を掘り足場を固めて安全に作業が出来た。

(次ページに続く)

\*\*\*\*\*

(前ページより)

土が乾燥して斜面が滑り、移動や作業中に足場を固定するのが大変であったが、ヒヤリ・ハットの事故もなく無事に研修を終える事が出来た。スタッフ・講師の方々有難うございます。参加者の皆様、暑い中お疲れさんでした。

位置) 「ひじりの森」=伊勢原市三ノ宮の保国寺から聖峰への登山道途中にある主に竹林と広葉樹林で構成しているエリアを森林部会の里山整備チームでお借りして「ひじりの森」と名付け、平成26年から整備をしている場所です。

参加者:27名(内部講師・スタッフ含む)  
友谷①、高橋③、佐藤⑤、滝澤⑤、富樫⑥、小野⑦、有坂⑧、福島⑨、水口⑨、大澤⑩、小笠原⑩、山口⑪、松永⑪  
西出⑫、門澤⑫、北村⑬、斉藤⑬、星野⑬、岩田⑭、木村⑭、小松⑭、鈴木⑭、立花⑭、西岡⑭、羽鳥⑭、牧石⑭、水野⑭



## 熱中症を防ごう!

### 平成29年度全国安全週間

### 2017年7月1日~7日



平成29年度 “第1回やどりきの森へ行こう” 【 緑したたる森で癒やし体験 】  
平成29年6月3日(土)8:30~14:10 晴れ 参加者:24名 (写真撮影&キャプション:癒やし部会 福島 11期)

林内コースを利用して森林の持つ様々な癒やしパワーを体感しました。

スッと冷気を感じる滝郷の滝

沢を渡りイオンいっぱい滝郷の滝へ

木漏れ日の中ハンモックに揺られ一息



樹冠の揺らぎ(1/f)のリズムを感じながら心地よいひと時

緑のグラデーションを観ながらハーブティで味覚を味わう



自然観察部会 研修会 「夏鳥の観察会」 箱根ビジターセンター周辺

講師：上妻 信人氏(箱根ビジターセンター職員)

5月27日(土) 6:00~9:00、晴れ

＜ 松石 藤夫 13期 ＞ (写真：松本⑩、松石⑬)

夏鳥は、なかなか姿を見ることが難しいので“早朝の森の中”をねらって、箱根ビジターセンター周辺での観察会を行いました。芦ノ湖キャンプ村で前泊した人、車で直行した人、合わせて9名が5:45にビジターセンターに集合しました。

番外：仙石原のキジ



快晴、少し肌寒いくらいで心地よい早朝の空気に包まれた芦ノ湖の近くが今日の探鳥会の会場です。

講師の上妻さんから葉を頂いて6:00に出発しました。コースは、ビジターセンターから県道を渡って展望台と子供広場、野鳥の森を経てつどいの原っぱ、芦ノ湖キャンプ村、湖尻ふれあいの園地などを廻ってビジターセンターに戻る、緑豊かな森と草原での植物観察も楽しめるコースです。

ビジターセンターの建物の排気口に出入りするムクドリを観察から始まりました。

ホオジロ



コゲラ



ウグイス、ガビチョウなどのお馴染みの声を聴きながら歩き、展望台で暫く様子を覗いている時、何か啜えてサッと飛び去った猛禽類がいました。皆がオオーと顔を見合わせましたが、既に姿はなく写真も取れませんでした。後で、しっぼがどうの翼がこうだったと言う話が出て、結局ハイタカではなかったかと言う事になりました。こんな会話が探鳥会の楽しさの一つですね。

野鳥の森の水辺では、ハラビロトンボの羽化やモリアオガエルのタマゴも観られました。周囲の大木の森からクロツグミの声、また、何人かの人は、サンコウチョウの声も聴くことが出来たとのことでしたが(私は残念)。キビタキは、終始、森の中に澄んだ美声を流し続けてくれました。

ハウノキの花の香りが漂い、ヤブデマリの清楚な白が朝の光に輝いていて、一層観察を盛り上げてくれました。

また、ノアザミの受粉の仕組みなども話題になって、植物も大いに楽しめた探鳥会でした。

ハラビロトンボの羽化



モリアオガエルのタマゴ



ホオノキの花



ヤブデマリ



見聞き出来た野鳥 (22種 外来種含み)：シジュウカラ、エナガ、ホオジロ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、コゲラ、アオゲラ、カケス、スズメ、キジ、トビ、ムクドリ、キジバト、ハシボソガラス、キビタキ、クロツグミ、ツバメ、ガビチョウ、ハイタカ、サンコウチョウ、クロジ、

参加者 9名：菊池①、女川⑨ 内野⑨ 杉崎⑩  
小笠原⑩ 松永⑪ 松本⑪ 赤崎⑫ 松石⑬

全員で



次回は冬の探鳥会です：H30年1月6日

## 活動短信

今回の掲載は平成29年5/12～5/28です。  
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで今月号にならなかったものや、次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



**蚯蚓出** 5/10～5/15 頃  
みみずいずる  
蚯蚓が地上に這い出る  
第二十候 **立夏** 次候

**紅花栄** 5/26～5/30 頃  
べにばなさかう  
紅花が盛んに咲く  
第二十三候 **小満** 次候

### 活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。  
写真もあれば1枚添付ください。

#### ◆ 活動団体・活動名 等

- 日** 日付(できれば時間と天気も)
  - 場** 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)
  - 参** 参加者 人数
  - 県** 神奈川県 環境農政局 緑政部  
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
  - 財**(公財)かながわトラストみどり財団、**看** 看護師
  - スタッフ** 例 小田原市森林組合XX様  
例 川崎市公園緑地協会・XX様
  - イ** インストラクター(○数字:期) **研**:研修枠
- 以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)  
\*\*活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。\*\*

#### ◆ 県立21世紀の森

##### 自然観察会「春の野鳥観察」

- 日** 4月29日(土)9:00～14:00、晴れ
- 場** 南足柄市内山 県立21世紀の森
- 参** 計15名(大人14名、子供1名(男性7名 女性8名))
- スタッフ** 21世紀の森 平井様
- イ** 石原⑧

観察会当日は、穏やかな晴天で絶好の探鳥日和となった。

森林館前で挨拶は早々に済ませて出発。目の前の木のてっぺんでホオジロが、向こうの木のてっぺんではメジロ

が囀っていた。冬の観察会で見たヤマアカガエルのオタマジャクシを探していると、すぐ近くにシジユウカラやコゲラがやってきた。クロツグミやヤブサメは声を、オオルリやキビタキはその姿まで観察することができた。

昨年の観察会の反省から開催時期を早めたこと、21の森サポーターのご夫婦にご同行頂いたことにより多くの野鳥を観察することができた。

今回、子供の参加は一名であったが準備した「自然発見カード」に楽しそうに取り組んでいた。

お昼はふれあいセンターで地元のお母さんの山菜料理に舌鼓を打った。年配の参加者が多く、子供を中心のんびりと和やかな雰囲気の観察会となった。

(今回観察できた鳥類 姿14種・声のみ12種)

(記 石原 和美⑧)

#### ◆ 都立桜町高校

##### 奉仕活動(植樹)

- 日** 5月12日(金)11:30～15:00、晴れ
- 場** 宮ヶ瀬湖 鳥居原園地
- 参** 高校生320名 教師10名
- スタッフ** 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団・柳川様他7名
- イ** L西出⑫、渡部⑦、齋藤⑧、大原⑬、木村⑭

5月に入り、今日は汗ばむ程の良い天気になりました。  
桜町高校のドウダンツツジの植樹も9回目になり、今までに1400本を植え今回は160本が植えられました。

320人の生徒に1時間で道具を配り、苗を渡し植樹をするのには、少し無理がありましたが、何とかこなし終えられたのは、良かったと思います。

終わってからインストラクター全員で植樹のチェックをしましたが全体的にとっても綺麗に、またしっかりと植えられていて生徒の頑張りを感じました。

また、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団と森林インストラクターとの事前打合せや手順の確認がスムーズに行なえたのも良かったと思います。

作業中にヤマビルが出てきたもののその他は特に問題なく、終えることができました。

(記 木村 勇⑭)

## ◆ 持田製薬株式会社

## 森林育成ボランティア(下草刈り)

- 日 5月20日(土)11:00~12:40、晴れ  
 場 南足柄市塚原ボランティアフィールド  
 参 坂田専務他 計29名(男性26名 女性3名)  
 イ L村井⑨、渡辺③、松本⑧、菌田⑬

朝から好天に恵まれ、日中は真夏日も予想される日となった。インストラクター4名は、9時に新松田駅を出発し塚原ボランティアフィールドに向かう。到着後、倉庫から必要な道具を搬出し集合場所に並べた後現場の下見をする。

11時に持田製薬(株)様一行が到着する。総勢29名の内女性が3名、男性は26名で若い方から年配の方まで幅広い年齢層でした。

インストラクターの紹介、準備体操の後、装備を装着し4班に分かれて現場へ向かう。

今日来られたメンバーは概ね3割位が経験者であった。現場の桧は、枝打ちが未済の為下枝の枝張りで影になった所は下草が少ない所もあったが、太陽が照りつけ気温が上がってきた中で、汗びっしょりになりながら下草刈りに励みました。参加された方の中には、かなり疲れた方もおられましたが全員怪我なく、12時15分には現場作業を終了し下山する。

集合場所に帰り道具の手入れを行った後、村井リーダーから作業終了の挨拶があり、12時40分にマイクロバスをお見送りしてから道具を倉庫に格納後活動終了しました。この後、新松田の「こまち」に場所を替えて反省会を行いました。

(記 菌田 栄哉⑬)



持田製薬 平成29年度「森林育成のボランティア活動」平成29年(2017)5月21日(土) 毛呂山町の森にて(奥左側)

## ◆ 鶴岡八幡宮 槐の会

## 林内整備と癒やし・自然観察及びクラフト製作

- 日 5月20日(土)8:30~15:00、晴れ  
 場 南足柄市内山 県立21世紀の森  
 参 槐の会一般参加者44名 及びスタッフ6名  
 県 増子様、中田様  
 イ L 高橋⑨、菊地①、草野⑧、宮下⑩、山下⑪、湯浅⑪、吉田⑪、真部⑬、笠原⑭

昨年初めて県立21世紀の森を舞台とした企画を実施したが、作業場所、トイレ等が不便であった為、今回は運動広場周辺での場所を調整し実施できた。

当日は暑いくらいの天気となり、熱中症を心配するほどであった。バスの到着時間もほぼ予定通りであり、駐車場に近い運動広場で開会式を行いました。

午前中は5班に分かれ、カツラ・ヤマボウシ林の除伐を行う班と、アオキの除伐と枯れ木、枯れ枝の林内整理を行う班に分かれ汗を流しました。作業場所は急傾斜の所もあり、足場に注意しながらの作業もありましたが、事故も無く作業を終えることが出来ました。

参加の皆様は暑い中での作業でしたが、想定以上に整備作業が出来ました。

午後からは21世紀の森施設内でのクラフト製作班、自然観察と癒し体験班、どんぐりコースから金太郎コースを歩く健脚コースに分かれ活動しました。クラフトは箸作りを行い、参加者はそれぞれヒノキ材をミニカンナで削り、焼き鏝で名前、模様を入れた作品を完成。癒し体験は樹冠の揺らぎ体験と眺望の良い場所でハーブティーを賞味しました。健脚コース参加者は元気で、まだ物足りないとの声もありました。

下見が分散したため、多少運営でロスがありましたが、事故も無く、参加の皆様が笑顔でバスに乗り込まれるのを見てスタッフ一同もほっとして見送りました。

(記 高橋 修⑨)

『かながわわすくちゃん』

ホームページは下記URLで見ることができます。

かながわの水環境の  
保全・再生をめざして

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f420104/>

◆ 第35回神奈川トヨタプリウス森木会

●=1日目「水源林の清流ウォーキングと里山遊び」=

☐ 5月20日(土)10:00～15:30、晴れ

☒ やどりき水源林

☒ プリウス森木会の皆様、参加者33名(内子供13名)

☒ スタッフ 神奈川トヨタ渉外広報部黒澤室長他

サポートスタッフ12名

☒ 菊地様 ☒ 萩原様

☒ L福島①、

・(沢歩き・水生)井出①宮本④杉崎⑩大原⑬、

・(葉巻笛・丸太切り・ロケットラワン)森本⑤上田⑩小林⑭

恒例の神奈川トヨタプリウス森木会も足掛け20年に亘り、神奈川トヨタ自動車株式会社のお客様と森を守る活動(植樹、間伐、土留め柵作り等)や森と親しむ活動(自然観察、水生生物観察、森林癒やし体験等)を実施しており、これまでで約2,400名が参加したとのこと。

夏日のような好天にめぐまれ、今回、初企画の水源林の清流ウォーキングには絶好の活動日となった。参加者を4班に分け、土壌・水生生物班のインストラクターが中心となり、集会棟広場前から癒やしの森前の堰堤まで寄沢を歩き、癒やしの森で骨伝導を体験し、後沢出合より林道終点上部の堰堤まで沢歩きを体験した。帰路は林道を歩いて集会等広場に戻り昼食となった。

午後は、水生生物の観察と、里山遊び(丸太切り、葉巻笛、ロケットラワン)の活動を交互に楽しんだ。小学生以下の子供も参加しての沢歩きとなり、結構厳しい活動内容ではあったが、サポートスタッフの方々と一緒に安全に注意して、けが人を出すこともなく沢歩きを終えることが出来た。参加者の皆さんからは、めったにできない体験が出来て、大変楽しかったとの感想を頂いた。

(記 大原 正志⑬)



●=2日目「水源林の清流ウォーキングと里山遊び」=

☐ 5月21日(日)10:00～15:30、晴れ

☒ やどりき水源林

☒ プリウス森木会の皆様、参加者41名(内子供15名)

☒ スタッフ 神奈川トヨタ渉外広報部加藤室長他

サポートスタッフ9名

☒ 前原様 ☒ 萩原様

☒ L福島①、

・(沢歩き・水生)井出①白畑⑦吉田⑩宇田川⑬、

・(葉巻笛・丸太切り・ロケットラワン)森本⑤草野⑧真貝⑩

前日に続き活動が行われた。活動内容も同じで内容で実施され、午前中は初企画の水源林の清流ウォーキング、午後は2グループ4班に分かれ水生生物と里山遊び(葉巻笛・丸太切り・ロケットラワン)を交互に体験する内容であった。当日は5月とは思えない夏日で、水分の補給も頻繁に行いながらの活動となった。

お客様の反応は、「自然に触れ合う機会を持てて良かった。」「ちよど子供たちが森林の勉強をする時期なので、楽しみながら体験できた。」との感想が聞かれた。

両親にとっては、ヒヤヒヤした場所も有ったと思われるが、前日同様に川の流れを渡る場面ではポールを用いた手すりを用意する等サポートスタッフの方々の援助も有り、けが人を出すこともなく無事に活動を終えることができた。

(記 真貝 勝⑩)



人も自然も  
いきいき 丹沢

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会の  
ホームページをご覧ください。  
<http://www.tanzawasaisei.jp/>

### ◆ タカナシ乳業株式会社 パートナー林整備活動 癒やしの森の整備、水辺の生き物探しとコースター作り

日 5月27日(土)10:00~15:00、晴れ

場 やどりき水源林

参 社員23名(大人22名、子供1名)

県 増子様、高橋様、野澤様

イ L:宮下⑩、草野⑧、湯浅⑪、小林⑭

色とりどりの緑が美しいやどりき水源林。天候も良くすがすがしい活動日となった。オリエンテーションの後、緑のダムによる水源涵養実験と森の持つ水源涵養機能の話。作業装備をしてタカナシの癒やしの森である溪畔林に向かう。作業は、倒木の処理と林内整備。沢に石を置き、渡しを作る。その後、全員でミツマタの植栽。昨年植えたミツマタが元気に成長したことを皆で確認。

昼食の時間を利用しハンモック体験。

午後のプログラムは2班に分かれ、1班が滝郷の滝でマイナスイオンを感じた後、水生生物の観察。もう1班が丸太切り体験と刻印入りコースター作り。交互に活動を体験。

活動後のハーブティーの試飲も格別のものであった。初めて行った水生生物の観察に、皆さん興味が深々の様子。

コースターもうまくできたようで記念品となった。募金活動にもご協力いただき感謝に気持ちいっぱいである。

緑の生えるやどりき水源林で、ゆったりと一日を過ごしていただけたのではないのでしょうか。

(記 宮下 修一⑩)

### ◆ JXTG エネルギー株式会社 パートナー林保全活動

日 5月27日(土)、晴れ

場 やどりき水源林

参 204名

県 増子様、橋本様、野沢様

イ L上田⑩、友谷①、柏倉④、佐藤⑤、小野⑦、伊藤⑧、阿部⑧、有坂⑧、齋藤⑧、小沢⑨、村井⑨、大澤⑩、松山⑩、大塚⑪、柴⑪、福島⑪、山口⑪、吉田⑪、石川⑫、西出⑫、稲野辺⑬、真部⑬、木村⑭、牧石⑭、

計24名

前日まで雨模様で現場状況が心配であったが、当日は

前日の雨に洗われた新緑がまぶしいほどに映えた晴天の1日となった。

予定より早く参加者のバスが到着し、オープニングセレモニーも予定より早く始めることができた。根岸製油所の江澤所長様と県水源環境保全課水源の森林推進グループリーダーの増子様の挨拶の後、インストラクターから本日の活動についての概要説明と安全作業についての説明があり活動は開始された。

全員での集合写真を撮った後、各活動グループに分かれて作業現場に向かった。

＝間伐： 8班編成で胸高直径20cm前後のヒノキ5本と杉3本を伐採した。掛り木などにより時間内に処理できなかった班もあったが、安全に活動することができました。

＝ログヘッジ： 林内に伐採された丸太が放置されているのを、表土の流出を防ぐ目的で水の流れる場所に、丸太を積みなおすことにより林内整理を進めてゆく活動を今回初めて行った。3班を編成しましたが、メンバーは元気潑刺の新入社員の若者で、力を合わせて大きな丸太を移動させ谷筋に並べなおして、表土流出防止柵(ログヘッジ)を作った。林内は見違えるほど整備されて大きな成果を見ることができました。

＝丸太筋工： のり面の土砂の崩落を止め、遊歩道の保護をする土留め柵の構築で、今回は間伐材を利用したラウンド丸太を使用して構築した。2スパンを実施し連続壁にする計画であったが、時間不足で各班1スパン(1.8m)の施工しかできなかった。次回の活動において補完してゆくことになりました。

＝自然観察： 新しい試みとして開発された清流ウォーキングを取り入れて自然観察のプログラムを作成しました。今まで行ったことのない「滝郷の滝」のすぐ近くまで行きマイナスイオンを全身に受け爽快な気分で、寄沢の河畔を上流に向かってさかのぼりました。今までと異なった方向から水源の森を体感していただきました。

＝クラフト： 竹笛(うぐいす笛)・葉巻笛・ロケットラワン、そして丸太切りの4ブースで活動しました。参加した小学生たちが一つ一つ興味をもって参加してくれたので活況のうちに活動できてよかったです。

皆様のご協力により予定通りのタイムスケジュールで活動できました。また緑の募金では参加者の皆様のご協力いただきました。

(記 上田 啓二⑩)

◆ 横浜市立菅田小学校

高取山から仏果山登山

- 日 5月28日(日)9:00~15:00、曇り
- 場 愛川ふれあいの村から高取山、仏果山登山
- 参 小学4,5年生86名、教師等8名・、
- イ L小野⑦、内野⑨、上宮田⑪、赤崎⑫、西出⑬、松石⑬、真部⑬、木村⑭、牧石⑭

当日はうす曇りで時折陽のさす絶好の登山日和となった。懸念された交通渋滞もなく開始のセレモニー終了後予定の9:30過ぎには班別に登山を開始、全行程を休憩・昼食も含め5時間強と想定していたが生徒諸君の頑張りで5時間を切り後に控えた入村式・夕食(定番のカレーライス)作りに支障を来すことなく、予定どおりのスケジュールに先生方も安堵された。

4,5年生合同で4年生にはかなり厳しい行程かと心配したが途中での森林に関する説明等で適宜臨時休憩もあり終始みんな元気で、声高に歌う班あり、掛け合い漫才的なおしゃべり班ありで、我々インストラクターも敬服しきりでした。



林間を吹き抜ける涼風に癒され、下見時に咲いていたヤマツツジもしっかり花を残し、みんなの訪れに文字どおり花を添えてくれた。

高取山以降は急傾斜地が多く安全面に気を遣ったが大きな事故もなく無事帰着が何よりでした。

(記 小野 幸広⑦)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

森のめぐみの掲載は、今月号はありません。



◆ 県民参加の森林づくり活動

かながわの森へ行こう!の日

- 日 5月28日(日)7:50~15:10、晴れ時々曇り、
- 場 箱根町仙石原(イタリ水源林)
- 参 45名
- 財 豊丸様、鳥海様 看 青木様
- スタッフ 箱根水道パートナーズ(株) 浜名様 他2名
- イ L 杉崎⑩、稲辺⑤、鈴木⑤、阿部⑧、大塚⑪、宇田川⑬、西岡⑭、野村⑭ 研 鳥海⑭
- 安全パトロール 飯澤⑨、松永⑪

天気予報のとおり、天候に恵まれた活動日和でした。

現場の約0.1haの植栽地に、ヒメシヤラ60本、イロハモミジ80本、ヤマザクラ80本、ヤマボウシ80本の計300本の苗木を、4班で、ほぼ均等に植栽しました。

ヒメシヤラは、シカが嫌うということで、敷地の境界線沿いに優先しての植栽でした。作業場は、ほぼ平坦で、表土もやわらかく、唐鍬での穴掘り作業は苦になりませんでしたし、さらに、事前に、300本の苗木は現地に分配、そして、1.8m間隔で支柱を立てていただいていたので、作業は効率的に比較的時間的余裕をもって進めることができました。

また、事故もなく植栽作業を終えることができたのは、インストラクターの安全管理の成果と思います。

植栽作業終了後、300本の苗木が植栽された敷地を見渡していただいた参加者には、満足感・達成感を得られたように見えました。



今回、参加いただいた45名の中には、数多くの森林活動のリピーター・経験者がおられた一方で、子供は2名でした。その子供たちからは、終わった後、「植栽は面白かった。」の感想をもらえました。

今後、もっと多くの子どもたちが森林活動に参加してくれるよう、個人的に、森林インストラクターの実力をもっと向上しなければと思った1日でした。

(記 野村 昭憲⑭)

ようこそ! 松田町 寄、「やどりき水源林」へ!

リーフレットより抜粋

# やどりき水源林の つどい

※詳細は下記に  
(公財)かながわトラストみどり財団  
横浜市西区岡野 2-12-20 Tel045-412-2255  
<http://ktm.or.jp/>  
<http://ktm.or.jp/contents/event/h29/yadoriki0805.htm>

## 8/5(土) 10:00~14:00

かながわ森林インストラクターがご案内。  
水生生物観察や森林癒やしハンモックなど、  
水源林の魅力を紹介!

林野庁任命  
「17みどりの広報大使」  
宮西伽奈さんが  
お越しくださいます

新松田駅 周辺 ⇄ やどりき水源林  
バスにて無料送迎!

2017ミス日本  
宮西伽奈(みやにしかな)さん

～以前に会報で紹介された斉藤おじいちゃんです～  
(斉藤武久氏⑥の義父様で、お二人は奇縁で同名です)

### “ 作 品 展 ”

#### おじいちゃんの手は まほうの手

～木工細工で語る絵本の世界～

100歳の我が家のおじいちゃん(斉藤武久)

毎日毎日、木の枝を利用して絵本の世界を作り出して  
いました。

材料は、愛犬モモと散歩で行く川沿いにある梅の剪  
定された枝や知人がいる丹沢の森の木の枝などです。

そんな木の枝から、「ぐりとぐら」や「14ひきのね  
ずみシリーズ」など童話や絵本の中から題材を見つ  
け、作品に仕上げていました。

いままでたくさんの方々に見ていただき、おじい  
ちゃんは大変喜んで「長生きしてよかったなあ」と言っ  
ておりました。そんなおじいちゃんも、今年1月2  
日に旅立っていきました。

直前まで作品づくりを楽しんでおり、あともう少し  
で出来上がるものもありました。

作品展を通じてたくさんの方と出会えることが、な  
によりもおじいちゃんの元気の素でした。

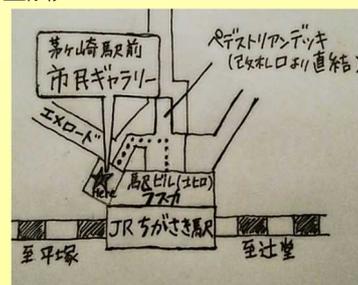
このたび感謝を込めて、作品展をひらくことにしま  
した。どうぞ皆様、絵本の世界をのぞきにきてくださ  
い。お待ちしております。

日時：7月7日(金)～7月9日(日)10時～17時

場所：茅ヶ崎市元町1-1 ネスパ茅ヶ崎 3階

(茅ヶ崎駅北口ラスカの西隣)

連絡先 斉藤民子  
0467-83-6723  
090-2558-5142



おじいちゃん  
と  
作品群



やどりき水源林  
ミニガイド

6月のトピックス

後沢入口近くの河原のウツギです。もう旬は終わりですね、



(6/17 撮影 松本)

7月の水源林 おいでください!

夏です。川に入って遊びましょう。水生生物がいます。熱中症を吹き飛ばそう! 滝郷の滝もあります!

「森の案内人」情報

案内人がご案内します。案内と事故保険に無料です。

- 実施時間: 毎週土曜・日曜 AM10時・PM1時, 1~2時間程度
  - 集合: 水源林入口ゲート前
  - 内容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- \*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

- 問合せ: (公財)かながわトラスト みどり財団 TEL: 045-412-2255 FAX: 045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>  
<http://ktm.or.jp/contents/event/127/yadoriki27.html>

- E-mail: [midori@ktm.or.jp](mailto:midori@ktm.or.jp)
- やどりき水源林までの道順  
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。  
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

洒水の滝祭り(山北町)

開催日: 7月23日(日)10:00~  
場所: 平山洒水の滝碑前、滝不動尊境内  
イベント内容:

- 滝開き式 午前10時~
- 式典 午前11時~
- 太鼓の競演 午前11時50分~
- 洒水の火祭り 午後 2時30分~



問合せ: 山北町観光協会 TEL 0465-75-2717  
検索: <http://www.yamakita.net/event/38>

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>  
松本 保

Mail: [matsutamori@jcom.zaq.ne.jp](mailto:matsutamori@jcom.zaq.ne.jp)  
Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり  
Mail: [s\\_akasaki-k\\_instructor@live.jp](mailto:s_akasaki-k_instructor@live.jp)  
Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>  
【本誌】松本 保  
〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17  
Fax: 045-301-9401  
電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: [matsutamori@jcom.zaq.ne.jp](mailto:matsutamori@jcom.zaq.ne.jp)  
【別冊】黒川 敏史  
〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515  
Tel: 080-5477-2206

Mail: [kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp](mailto:kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp)  
【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)  
〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204  
Tel/Fax: 044-944-9423  
Mail: [fukky52000@yahoo.co.jp](mailto:fukky52000@yahoo.co.jp)  
原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。  
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>  
(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★先週はホテル観察に行きました。時期が遅かったためか、今年はあまり見られませんでした。この貴重な自然が、来年も守られますように!

(大塚)

★ずーっと悩んでいたけど、ついにロードバイクを購入しました。

これからまずは乗車の練習です。頑張ります!

(赤崎)

★夏至を迎え、「一日にお米一粒づつの日照が短くなる」と祖母が話していたのを思い出します。

(小川)

★水がみなぎる田んぼに まっすぐ植えられた苗が風になびく風景を見ると 何故かホッとします。原風景というやつですかね。

(黒川)

★後沢入口の水場付近からモノレールの設置が始まっています。

終点は何処行くのでしょうか?

愛媛 No の車が。(ミカン畑と一緒に)



モノレール

■先月号より吉田さん⑩にも入って頂いています。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保  
事務局: 福島 正治  
広報部: 赤崎さほり 小川和恵  
          藪田栄哉 大塚晴子  
          黒川敏史 吉田郁夫  
支援 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

第51回夕日の滝びらきの開催について(南足柄市)

とき 7月2日(日)午前11時から(雨天時は安全祈願のみ)

場所 夕日の滝(南足柄市地藏堂地区)

主催 南足柄市観光協会 TEL: 0465-74-2111

プログラム

- 11:00~ 山伏による修祓(安全祈願)
- 12:00~ 足柄さら踊り 【足柄さら踊保存会】
- 12:35~ アルプホルン 【丹沢アルプホルンクラブ】
- 12:55~ フラダンス 【商工会有志フラダンス】
- 13:15~ 吹奏楽演奏 【岡本中学校吹奏楽部】
- 13:50~ 足柄ばやし 【足柄ばやし保存会】
- 14:20~ マスのつかみどり ※小学生以下対象・無料



<http://www.city.minamishigara.kanagawa.jp/newsTopics/p04360.html>